

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION

シオン

No.

34

2014



●ZION思い出のコレクション—3

「1回生の卒業証書とアルバム」

日本の社会が混乱の真只中にあった昭和23年に入学し、26年に卒業した1回生50名に贈られた「証書」と「アルバム」。

英文の証書が添えられ、本校ならではの異国的雰囲気漂う。アルバムは表紙がピロート貼り。1、2頁に校舎や校庭を撮った数点の生写真が貼り付けられ、往時を偲ばせている。 (提供: 1回生・村松修氏)

“熱き情熱” 穏和で静かなたたずまいの中に

聖書科担当

藤山修先生

堂陸太田市在住

いつもスット姿勢良く、にこやか。でも、ちよつとクールで近付き難い印象。実際は？

今年の春、定年退職されるまで、中高の聖書科教諭として25年間。先生は笑顔で、でも少し感慨深げに語り始められた。

先生は小学5年生まで大阪下町の西成区で育つた。隣町に住む朝鮮半島出身者の子供たちとけんかをしながら

も、よく遊んだ。この環境の中で得た経験が、後に、生きることに ついて考える出発点になった。

〈スポーツに情熱を〉

その後、中学から大学までは福島に住んだ。県立安達高校在学中には、運動が大好きで体操部を新規に立ち上げ、部長として活躍するほどの熱血漢であった。福島大学では教育学部物理科で学び、理科の教師として千葉県立印旛高校に赴任。低迷中の野球部の監督に就くや、またもや、強い部をめざ

して基礎作りに情熱を注いだ。

〈人間の存在について考える〉

その頃、同大学の音楽科を出られた久枝夫人と結婚。夫人と教会へ行くようになる。物理という自然現象よりも

「生きる意味」について考えることが多くなったという。そして後に明治学院大学の宗教科で学ぶこととなり、その後本校の宗教科教師として就職することになった。日常の聖書の授業と同時に、様々な学園内の移り変わりの中で、キリスト教教育の危機の時代もあり、先生は「キリスト教教育検討委員会」の委員長として、確固たる信念を持って働かれた。その時の事が学園年報第5号に「茨城キリスト教学園のキリスト教教育」として書かれている。

「良きキリスト教教育とは、生徒一人ひとりの持つ賜物を生かすことであり、受験勉強の指導と両立できるので」と、熱く語られる。

神こそわが岩、わが救い、わがやぐら、



私はゆるがされることはない。(詩篇62:6) 先生の好きな聖句である。先生の静かな物腰の中にある力強さの源はこれであると思った。

〈定年後の「計画」は？〉

今、先生は久枝夫人と社会人の長男との3人暮らしである。長女は結婚して東京に。次男は哲学の勉強にフランスに留学している。

これからのことは、未定で、「残りの20年をどのように生きていこうか」と思案中。

目下、卒業生たちの後援による、キアラ館での「定年退職記念最終授業」の準備に余念がないと嬉しそうに語る。先生は生徒に信頼され、そして受験競争の中の生徒の精神的な支えとなっておられたということが、お話しを聞きながら感じさせられるひと時だった。

(実際は？) 冷静でいて、優しく燃えている先生でした。



高校生時代は運動が大好き。スポーツ選手として活躍した

昭和59年
1984年
35回生
の頃
を
あ



塩原

コーラスコンクールで優勝(3年)

“声楽家への道”を決定づけた文化祭のミュージカル出演!

清水良一

ひたちなか市在住

大村宏子(旧姓・田上)

練馬区在住

塩原良枝(旧姓・菅野)

常陸太田市在住

現在、清水良一さんは、声楽家として数々のオペラに出演中。ナント、声楽家になったきっかけは、高校1年生の文化祭で行った創作ミュージカル「オズの魔法使い」の出演にあったというから驚く。当時の仲間とそのころの様子を語って頂いた。

清水 もちろんミュージカル「オズの魔法使い」出演のことは、今でもよく覚えていますよ。で、そもそも何故ミュージカルをやることになったんだっけ?

塩原 ホームルームで決まったのよネ。でも、あの時はふざけ半分だったような気がするし、私も「えーっ」と思いました。

大村 私も、ミュージカルやることについて「どう思う?」って聞かれて、「面白そうネ」と調子のいい返事をしてしまった事を覚えています。

清水 僕は、ドロシーと旅をするライオン役を演じました。ソロで1曲歌ったのを覚えています。すごく好評で、先生方や

友達から「良かったよ!」って、褒められました。

大村 あのステージを見た姉が、今でも「あの時の清水さんの歌、素晴らしかったよね」と言っています。私は曲作りを担当しました。まず、たたき台になる曲を作って、放課後みんなでワイワイ言いながら完成させたのを覚えています。どの曲も、みんなが簡単に歌えて分りやすい感じにしました。

塩原 劇中の歌は、素晴らしい感性の持ち主だった大村さんがいなかったら作れなかったと思う。清水さんのライオン役は彼のイメージで決まったような気がします。

清水 大村さんは、高1とは思えない程考え方が大人っぽくて、音楽に対してすごくセンスがあっていつも刺激的だった。当時僕は、人前で真面目に歌うなんて恥ずかしいと思っていたから、やりたい気持半分、恥ずかしい気持半分だったよ。

大村 でも、私たちが作った曲を清水さんが歌ってくれて光栄に思っています。実は、ライオン役の清水さんの絶唱振りを聞いた時は、もう少し“難易度”を上げて良かったかなと思ったくらいです。担任の小貫先生からも、清水さんの歌

唱力が職員室で評判になったとうかがいました。

塩原 清水さんの声はとても張りがあって、びっくりさせられたのを覚えています。コーラスコンクールでは、いつも清水さんが指揮をして優勝していた気がします。

清水 コンクールではいつも大村さんが音楽的なアドバイスをしてくれたよね。

大村 あの時は、ほかの役を演じた友達や衣装さん、大道具さん、みんなが頑張った“感動もの”でした。

清水 本当にあの時は、一致団結してすごくうまくいったよね。高1の時って今思い返しても、色々なセンスの人がいて、映画のような1年間でしたね。

大村 あの時の才能を現在の仕事につなげられた清水さんを、友達として尊敬します。

清水 いろいろ個性的な人達が集まる学校で本当に良かった。たくさんの刺激をもらったし、歌を勉強するきっかけのひとつが、あの時の思い出だったのだから。

小貫先生 覚えていますよ。夏休み中も学校に来て、衣装作りや歌の練習等をみんなで熱心にやっていましたね。それにしても、清水さんが声楽家になるなんて思ってもみなかったですよ。



涼山弘久
(23回生)
水戸市在住

10歳からのゴルフ歴

20代で株主になり、13年前に代表取締役役に就任した。スポーツ用品全般、特にゴルフ用品は出来るだけ客の要望を取り入れ対応している。ゴルフに関する的確なアドバイスには定評があり、弘久さんの崇拜者は多い。それは、キャディーも経験したゴルフ歴50年のキャリアに裏づけられている。

高校時代は吹奏楽に没頭し、2年生でトロンボーン、3年生でユーフォニウムを担当。野球の応援で汗を流した。3年前に奥様を亡くされ、次女との二人暮らし。

20代に水戸市栄町のクラブでフォークやオールディーズのひき語りをしていたとか。隠れたエピソードだ。

踊りの世界に身を置いて

高校在学中から東京へ通い、習い続けた日本舞踊。その縁で踊りの師匠明男さん(芸名・西川扇九郎)と結婚した。以来、踊りの会のマネジement、各界の有名人も通う稽古場やご主人がライフワークとする日本舞踊から考察する「身体軸の研究」のサポート、そして、家族やお弟子さんの健康管理など多忙な毎日だ。「今日に感謝して明日も自然体で生きる。シンプルな生き方がモットーです」と語る。

ゴルフ場の芝生で眠ってしまい、授業に遅れたこと。朝、ホームと反対側のデッキから飛び降りて、踏切をくぐり抜けたこと。空腹を満たしてくれた大みかまんじゅうの味。…など思い出は尽きない。



佐藤佐起子
(旧姓林/13回生)
東京都在住



神永久米男
(3回生)
高萩市在住

五感を詠む

神永家の週末は賑やかだ。近所に住む息子さん娘さん家族が全員集合するからだ。5人の孫に囲まれて、「老いのさびしさはありません」と語る。

高萩や北茨城での教師勇退後は、高萩市の文化財保護審議会に籍を置き、現在は会長として郷土の文化財を後世に伝える役目を担っている。また、最近は大文書の解読も手がけている。

在学当時、大部分が農地だったキャンパス。農業アルバイトとして短大生達と耕作し、小麦や落花生を収穫した。「あまり真面目ではなかったようです」と振り返る。

趣味の短歌は始めて15年。短歌集「青海」を発行している。31文字のことばさがしは続く。



●いま輝いています●

Bright

杜氏
椎名健二郎(51回生)
日立市在住

伝統の酒蔵を継ぐ 六代目

日立市十王町高原、この山あいの集落に椎名酒造はある。杉玉を掲げた趣ある門をくぐると、明治創業の歴史を物語る重厚な瓦屋根の屋敷が見える。花崗岩質の山の湧水と、山田錦などこだわりの酒米で酒造りを続けている。

健二郎さんはこの酒蔵の六代目を27歳で継いだ。大学を卒業してから、スポーツ用品の会社で仕事をしてきたが、五代目の父親将人さんが病に倒れ、家業を継ぐことになった。椎名酒造は当主自ら杜氏をつとめ酒蔵で仕込みをする。容易に習得できる仕事ではないことを、子供のころから父親や祖父の背中を見てきた健二郎さんは分かっていた。突然の転機、覚悟を決めた。病と闘う父親と限られた時間のなかで、二度の仕込みを共

に経験した。国税局の醸造研修も受講した。父親は最期まで病床から健二郎さんに椎名家の酒造りを伝え続けてくれたという。

そして、3度目の寒仕込み。健二郎さんは亡き父親の教えを守り酒蔵に入る。取材に伺ったのは、まさにその最中。椎名家を良く知る人達が健二郎さんの仕事を支えている。酒造りは、室で蒸した米に麹菌をかけて発酵させる。匂いや感触、温度を見極める。六代目の采配で酒の出来具合が決まる。緊張と責任ある仕事が決まる。

「我慢強い子でした。先代も、子供の頃手伝った仕事ぶりに感心していました」と、共に酒蔵を守る母親は振り返る。平成24年、五代目が息子と最後に作った「富久心」が全国新酒鑑評会で金賞を受賞した。翌年には、杜氏椎名健二郎の酒が、茨城県の鑑評会で県知事賞をとった。31歳の若者への信頼と期待が大きい。

「地酒はその土地の風土で味わうもの。うちの「富久心」ならではの味をさらに極めて行きたい」。そして、「酒造りを続けていくこと」が何よりも大切なことと、六代目は静かな口調で語る。健二郎さんは自分の道を信じ、誠実に歩み出している。

興味ある授業を!

1年生からの特進クラス。担任は3年間数学担当の杉浦聖美先生だった。恵まれた環境だったが、本腰を入れて勉強したのは3年に進級してからとか。

茨城大学理学部卒業後は本校の数学教師となり、現在は桜川市立岩瀬西中学校で教えている。授業にはパソコンを導入。生徒が関心をもてる課題を取り上げ、グループで考え学びあう指導をしている。

女子バスケット部の顧問として休日返上の毎日を若さで乗り切っている。また、保敷さんも地元チームに所属し、市民リーグに参加し楽しんでいる。

「毎日食べても飽きない!」と自負するラーメン好き。評判の店があれば、県外にも車を走らせている。



星 保敷
(63回生)
笠間市在住



許 容華
(63回生)
東北大学医学部
保健学科看護学専攻

医療の道へ

仙台での一人暮らし。通学は小回りの利く自転車。快適な大学生活を送っている。バスケット部に入部。また、本校中学から6年間続け、県北地区大会や県大会で活躍した硬式テニスのサークルにも参加している。

中学生の時から決めていた医療関係への道。志望校受験のため高校の学習室で共に勉強した友人たちとは、時々会って交流を深めている。

今年の冬はアルバイト先の旅行で、先輩と同僚たちとフィンランドへ旅をした。初めてスノーボードにも挑戦した。しかし、それもこれも専門教科の勉強が始まるまでと自覚している。



中村 涼子
(旧姓・津見 / 43回生)
横浜市在住

ほどよいバランスで

中学時代から夢にみた英語教師への道は実現した。高校2年で英語クラスを選択。讀美歌を英語で歌う楽しさを知り、英語弁論大会では聖句を暗誦したり、夏休みにはオーストラリアで語学研修もした。大学卒業後は念願の英語教師となり、現在は法政大学女子高で生徒に寄り添いながら教鞭をとっている。

家庭と仕事の両立のモットーは、「物事は人の手を借りず、自分の範ちゆうに収める」こと。だから、小学生の2人のお子さんや、システムエンジニアで多忙なご主人のためにも、職場は自宅から近いことが条件だ。「時間にゆとりができれば、中国語も勉強したいです」

花・はな・華

「Well花夢 (ウェルカム)」愛らしいネーミングの店は、起業して21年になる夫雅史さんと裕子さんの生花店だ。同業の実家を助けながら取得した一級フラワー装飾士の資格に裏づけられた技術とセンスで作る裕子さんのアレンジメントは、「花束やリースはこの店で!」のリピーターも多い。好きな花は“ガーベラ”。多様な色合と形に魅かれる。

高校では生徒会の役員を務め、陸上部に籍を置いた。「半年だけの部員でした。生徒会ではお役に立てたかしら?」と謙遜する。夫と長男の雄大さんは長距離ランナー。長女の舞夢さんも加わり、本校陸上部の活躍にエールを送っている。



鈴木 裕子
(旧姓・松原 / 33回生)
茨城町在住

夫婦DEシオン

遠藤 剛 (40回生)
美紀 (旧姓・小岩 / 40回生)

日上市在住

「今もデートを楽しんでいます」

2人は、高校時代の同級生。

剛さんは、野球部で甲子園を夢見るエースとして活躍。

美紀さんは、マネージャー。(ただし、バレー部の…)

1年生の秋、剛さんからの電話で交際はスタートした。卒業後、剛さんは青山学院大学の野球部へ。美紀さんは茨城キリスト教大学へ進学。「ディズニーランドでデートを楽しむ等、いろいろ行きました」。“遠距離”が2人の間をぐっと縮めたようだ。

昨年一線を退いたが、剛さんは



日立製作所の実業団野球部で大活躍していた。野球通なら誰もが知る有名人だ。3人のお子さんも野球が大好き。長男は本校で、中学生の次男も、小学生の3男も野球部に所属して頑張っている。剛さんは指導者として頼もしい存在だ。

多忙の中、2人は時間をつくってカフェを巡り、思い出のディズニーランドでデートを楽しむ。

「子供たちの活躍に夢を託しています」と、お二人は一心同体のようだ。

学生寮story

「寮生の集い」が2013年5月、元寮監2名を交え水戸で開かれた。この会は1989年に10回生女子寮生数名が東京で会ったのが始まり。その後男子寮生も加わり、場所を茨城に移してこれまでに10回程開かれている。学園から高校の寮がなくなってから久しく、寮が存在した事を知らない人も多い。「寮」とはどのようなものだったのだろうか。

1948年の開校時、キリスト教主義や英語教育に魅かれた県外出身者が多く、寮は開校当初学園内に設けられた男子寮と女子寮(以下旧寮)と、1951年9月に学園内に設けられた新寮があった。旧寮は、木造二階建て開拓農家を借り上げた約30名収容の寮で、男子寮は現在の日立市大みかけやき荘の所で、1階に寮監室と食堂、2階が寮。若い先生が交代で寮監を勤め寝食を共にした。女子は現在のゴルフ場のはずれにあった寮で朝夕食をとり、昼は学園内のかまぼこ食堂(後述)を利用して。誕生会が行われ、寮監と一緒に久慈浜の映画館にも行った。寮の食事だけでは足りず、行商のおばさんから大福や果物を買ったり、夜中に食堂のジャムをつまみ食いしたり、畑からイモや大根を失敬しファイアーストームを楽



通称かまぼこ校舎、32坪の「学生食堂」は1970年頃まで使われた

しんだなどの逸話がある。寮監の先生と徹夜で語り合ったり、高尾利数先生の怪談を聞いたりもした。勉強でも上級生の姿勢が下級生を刺激し、皆で切磋琢磨していた。旧寮では女子寮が先に閉鎖され、男子寮も10回生が3年になる頃に閉鎖されたようだ。1958年6月の高校新聞The Shionには「満員の男子寮」と題し、「現在男子寮生は21名、旧寮に18名、残りの3名は新寮にいる。旧寮は6畳に3人と机3つ、今年いっぱいまで立ち退き勧告を受けている」と記載されている。

一方、2棟が建てられた新寮は、木造平屋14室。上級生と下級生が相部屋で入った。男子寮は現在の大学南体育館辺りにあり、暁声(ぎょうせい)と名づけられ寮歌もあった。

女子寮は現在の大学若草寮辺りにあり、10回生の頃に東雲(しのめ)寮と名づけられた。風呂は別棟で真ん中が壁で仕切られていた。食堂は、現在の大学北体育館の所で、米軍払い下げのQuonset hut(かまぼこ型兵舎)に設けられ、1970年頃まで使われた。寮監だった荻原俊子先生によると「皆さんお行儀の良い方たち」とのことだが、夜抜け出してラーメンを食べたと証言する人もいる。上級生の面倒見が良く、男女合同のウェルカムパーティ、五浦への歓迎遠足やクリスマス会があり、女子寮の近くの宣教師住宅のベッツ先生宅では毎週バイブルクラスが開かれた。ほとんどが寮生で、バゲット先生や広瀬武先生も来られ、ゲームやレコード鑑賞、ルース先生(ベッツ夫人)お手製のケーキも楽しんだ。

バイブルクラスは25回生頃まで続いた。男子寮は1966年2月に出火、



1958年3月に撮影された寮生の皆さん

当時9室に14名が入っていたが、試験休みでほとんどが帰省していた。この火事後、男子寮の歴史が終わった。一方、女子寮は、交通の発達などで寮生が減り1988年に閉鎖された。

東日本大震災では、いわきなどの元寮生の被災者へ、寮生仲間が支援活動を行なっている。

北茨城の水産業復興の仲立ちもして、「我孫子市和太鼓祭り」であんこうの吊るし切りや干物販売などが実現した。今年の和太鼓祭りにも参加が決まっており、「寮生の集い」の輪が広がっている。

昨年の「寮生の集い」で広瀬武先生は「1956年から学園に勤め、森貞昭三先生、志田諄一先生と3人で寮監を勤め、女子寮とも交流があった。学園生活のスタートが同時だった9～10回生の寮生との深いつながりが、私の43年間の教師生活の原点の一つだ。今後も「寮生の集い」の交流を続けてほしい。」と挨拶をしている。なお、今年の「寮生の集い」は6月8日に、ホームカミングデーに合わせて記念館で開催される。

校歌「シオンの四季」披露式が 挙行されました



作曲家藤島昌壽氏の指揮で全員合唱

1960年(昭和35)生徒会歌として誕生した「シオンの四季」が校歌となり、その披露式が今年2月22日(土)、ローガンファックス記念講堂で在校生が一同に会して開かれた。学園理事会などで話し合われ、また、ZION33号に掲載した「シオンの四季」誕生秘話の特集記事もきっかけとなり、校歌に正式決定された。

披露式には、作曲者の藤島昌壽氏、作詞者の故長埜盛先生のご家族はじめ多くの学園関係者が出席された。鈴木龍夫校長は「シオンの四季」誕生を聖書を聖書の伝導の書3章を引用して、「すべてのことには季節があり、すべてのわざには時がある」と話された。

礼拝に続いて、中学高校のコーラス部が藤島先生の指揮で「シオンの四季」を演奏した。「学園の四季を見事に表現している素晴らしい名歌です。校歌として未永く歌われることは嬉しい限りです」と、藤島氏は感慨深げにスピーチされた。

(学園ホームページで、披露式の動画を見ることが出来ます)

「ZION」発行への寄付のお願い

13,000人以上の卒業生各位への「ZION」発行と送料で200万円以上が必要です。毎年資金が不足しております。一人2,000円以上のご協力をお願いします。
(ZION一紙に同封の振込用紙をご使用ください)

●平成25年度同窓会への寄付者一覧(119名)
(合計金額779,500円)

ご好意ありがとうございました。

2	萩宮酒造	野内井藤	泰三	男子	14	岡井松山	田坂本口	子代	25	村原山谷	中宮永大	29	30	31	34	35	37	38	39	40	44	49	54	57	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119
2	萩宮酒造	野内井藤	泰三	男子	14	岡井松山	田坂本口	子代	25	村原山谷	中宮永大	29	30	31	34	35	37	38	39	40	44	49	54	57	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100	101	102	103	104	105	106	107	108	109	110	111	112	113	114	115	116	117	118	119

開催しました!!

■「寮生の集い」開催
平成25年5月12日(日)、水戸三の丸ホテル。23人が参加して、楽しいひと時を過ごした。

■日立支部「歴史ツアーへ」
平成25年10月20日(日)、二本松方面歴史散策の第1回日帰り旅行を開催。あいにくの雨天にもかかわらず18名参加。7回生の高野勇氏(日本お城検定合格)の名ガイドで楽しく見聞を広めた。

■22回生同窓会開催
平成26年1月25日(土)、水戸三の丸ホテルで第22回生「還暦祝い大同窓会」を開催。藤枝先生、梅津先生、小杉先生の恩師と約50名が集合し、大いに盛り上がった。

■ひたちなか支部(ツアー実施)
平成26年3月6日(木)、19名が参加。築地・新宿ヒルトンホテルの豪華ランチを満喫し、ルミネのよしもとで爆笑ライブを楽しんだ。

開催しま～す!!

■東京支部発会式
7月19日(土)京王プラザホテル43F。東京、神奈川、千葉、埼玉在住の方へのお知らせですが、どなたでも、どこの地区からでも参加OK!
会費:1万円
連絡先:名越美(22回生) 090-3136-1817

■日立支部の総会開催します
6月8日(日)午後3時から、同窓会記念館。ホームカミングデー当日です。常陸太田、日立、高萩、北茨城の同窓生の参加待っています。

■32回生同窓会
9月13日(土)水戸ホテルシーズン
幹事:小野瀬雅之

■30回生同窓会
9月14日(日)水戸三の丸ホテル
幹事:金澤邦博

■寮生の集い
6月8日(日)、ホームカミングデー同時開催。

CAMPUS NOW

見て、感じて、作って、食べて...

■家庭部



部員は1年生6名、2年生2名、3年生3名。黒一点の1年生男子の篠原秀都君が部長を務める。(顧問は、鈴木佳子先生と大森敦子先生)
日頃の活動は月に1〜2回。広々とした調理室と恵まれた設備を使い、主に調理実習を楽しんでいる。部の歴史はかなり古く、浴衣を縫ったこともある。家庭で役に立つことを生徒の希望で実施している。
年2回、家庭部が主催・開催する校内国際交流活動の留学生ウエルカムパーティーでは、日本食や和菓子、クリスマスにはケーキ等々、一緒に調理をして会食しながら交流を深めあつた。
また、学園祭では日頃の腕前を発揮して、トン汁やこんにやく種のヘルシーヌードルを販売。収益金を生徒会活動費に寄付している。
部員の中には、中国からの留学生や、また、小学生の時に「朝ごはんコンテスト」に入賞し、中学・高校の6年間を家庭部員として過ごした生徒もいる。「将来は管理栄養士、さらには、資格を生かしてお店を開きたい」と、シッカリ目標をもって部活に励んでいる。
(取材日:平成25年2月22日)

■女子陸上部

第25回全国高等学校女子駅伝競走大会(京都)に、8年連続18回目の出場を果たし、35位と健闘した。

ありがとうございました!
3名の教職員の方々が勇退されました。

- ・小澤則男先生(国語・41年間)
- ・高野兼久先生(英語・40年間)
- ・藤山 修先生(聖書・24年間)

楽しさつなぐ“シオン祭”

11月3日に開催されたシオン祭に、毎年恒例のサザコーヒー、ひよこの器の販売と、フリーマーケットで参加した。何年かぶりの再会に、同窓生がコーヒーを飲みながら思い出話に花を咲かせ、フリーマーケットでは楽しく会話しながらお気に入りと一緒に探し合う等、和やかなひと時が見受けられた。



参加者全員の頑張りを今後へつないで行きたいものだ。一緒にやってみようアイデアを事務局か近くの役員にどしどしご連絡頂きたい。

収益金は、121,920円となり、同窓会活動資金として有益に利用される。

井坂光宏先生ご逝去
2月17日、元校長井坂光宏先生が亡くなりました。生徒達にたいへん親しまれ、ホームカミングデーには担任クラスの卒業生達が「井坂組」とプリントした揃いのTシャツで毎年参加されていました。ご冥福をお祈り致します。

お待ちしてま〜す！
平成26年度

ホームカミングデー

日時：6月8日(日) 午前11時〜午後2時
会場：キアラ館Ⅱ総会

学生会館Ⅱ楽しい集い

★今年は、7、17、27、37、47、57回生が、ヒーロー及ヒロインです。
いいことあります。ぜひ出席ください。
★差し入れは、もちろん大歓迎です！



■同窓会事務局：0294-4-33-3315

●第一部：平成26年度同窓会総会
●第二部：楽しい集い

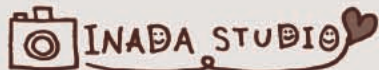
<講話>
水戸ホーリーホック社長の
沼田邦郎氏が
「水戸ホーリーホック」を語ります

<フラダンス>
ロケラニ・フラ(薔薇の花)の
メンバーが登場
アロハオエ、他...をお楽しみに!

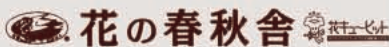
編・集・雑・感

ZION33号で「シオンの四季」誕生秘話を紹介した。功を奏し校歌として歌われることとなった。在校生卒業生双方ともうれしいことで、同窓会もあおりに喜んでゐる。また、多くの同窓生の協力により、広告をたくさん掲載することができた。これも財政難の同窓会だからこそうれいし話題となった。これらは「ZION」発行の大きな活力となり、同窓生各位のさらなるご支援を願ひ、新たな話題探しに「サ」チする編集部である。(KK)

●編集スタッフ：ブキャノン理枝子・佐藤寿子・瓦吹堅・手塚正子・水庭敬子・荒川眞理子・原田順子・藤原智子・松田玲子・芳賀友博 ●デザイン：ミズ



日立市千石町4-7-9
TEL0294-33-1403 FAX0294-33-1421
ps-inada@juno.ocn.ne.jp
http://inada-studio.com



日立市鹿島町1-12-6 0294(21)1414
葬祭部:0294(21)1470
フローラ：マ尔特那珂店内 0292(95)3987
フローラ：マ尔特笠原店内 029(241)0487
フローラ：マ尔特元吉田店内 029(353)8711



信頼・安心のブランド 住宅用太陽光専門店

京セラソーラーFC
住まいるカワシマ
http://smil-kawashima.jp

本社：ひたちなか市津田1398-1 Tel029-273-9000
日立：日立市川尻町5丁目4-15 Tel0294-42-7111

■キレイになりたい方ご来店ください■
感動させます!

ソニックエステフルコース体験
初めての方¥1,000(+税)
NOZAWA
笠間市稲田4115 TEL0296-74-2451
AM9:00~PM7:30(予約はPM5:00まで)



人と環境に優しい印刷物を提供します

日立高速印刷株式会社
代表取締役 川上光彦 (33回生)
本社 日立市東成沢町3-4-8
TEL0294-35-3511 FAX0294-34-5166
http://www.hkp.co.jp Email:sales@hkp.co.jp

「釣り人と共に」がモットー。
釣り人あるところに「上州屋」あり。

NICE DAY GOOD FISHING



株式会社フットボールクラブ
水戸ホーリーホック
TEL029-212-7700 水戸ホーリーホック 検索

Enesta エネスタ
TOKYO GAS GROUP
「ガス機器に関する」お問合せ・ご相談は…
エネスタ多賀
TEL 0294(36)2520

PC
cafe bar
カフェ・パール・エポック
カサマSCホレホレシティー内
金澤里英(49回生)

(株)魚武
魚武本店(弁当、仕出し等)
日立市弁天町1-12-12
TEL0294-22-0241
和食屋 まんぼう
日立市弁天町1-11-7
TEL0294-21-7700
日立ゴルフクラブレストラン
日立市清川町3033
TEL0294-22-5659

カクテルと食彩の店 とらんとん
日立市幸町1-12-4 pmビル5F Tel.0294-22-1030

肥料・農薬・農業資材・米の集荷販売
江幡商店
〒319-1411 日立市川尻町1-15-21
Tel:0294-43-5710 / Fax:0294-43-7425

★広告掲載(有料)希望される方ご一報ください

茨城キリスト教学園高等学校同窓会報

ZION No. 34

●発行日/平成26年5月1日
●発行人/金澤克彦
●発行所/茨城キリスト教学園高等学校同窓会

〒319-1295茨城県日立市大みか町6-11-1 TEL.0294-52-3215(代) FAX.0294-53-9271

http://www.icc.ac.jp/zion/ E-mail:ih-dousou@icc.ac.jp